

## 第三八回 内村鑑三研究会のご案内

次の要領で第三八回内村鑑三研究会を開きますので、ご参集の上、お励ましたいただきたく、ご案内申し上げます。

日時 二〇一六年九月一九日（月曜日・祝日） 一四時―一七時

場所 今井館聖書講堂 〒152-0031 東京都目黒区中根1-14-9

（東急東横線「都立大学駅」下車 徒歩7分）

研究報告

内村鑑三と金教臣・矢内原忠雄・佐藤司郎

森山浩二（「日韓青年友和の会」代表）

〔発表要旨〕

内村鑑三は晩年、「多分我が信仰が朝鮮人の中に根ざして、然る後に日本に伝わるであろう」と述べていたが、金教臣がまさにその一人であった。日本の植民地下の朝鮮人として、内村に聖書と信仰を学び如何に生きたか、その生きざまがその後いかなる信仰の実を結んだか、今に至るまでを歴史的に概観し、神の御経緯について考えてみたい。

### 近代宗教史のなかの内村鑑三

島菌進（上智大学大学院教授）

〔発表要旨〕

内村鑑三が日本の宗教史・精神史に及ぼした影響はたいへん大きい。新しい思考の次元を切り開いたと見ることもできる。国家神道を相対化することができるといえる宗教思想という点では、他に抜きん出ている。近代日本の哲学や文学の歴史に及ぼした影響も小さくない。いったいなぜ、内村はそのような大きな影響力をもつに至ったのか考えてみたい。

司会 柳父圀近（『内村鑑三研究』編集委員、東北大学名誉教授）

会費 一〇〇〇円（学生五〇〇円）（資料代を含む）

主催 『内村鑑三研究』編集委員会

（荒井克浩、大山綱夫、ゾンターク・ミラ、  
高木謙次、千葉眞、原島正、柳父圀近）

問い合わせ 柳父圀近

電話 022-277-0084

今井館教友会

電話 03-3723-5479（開館日・月水金 10時～17時）

